# 7 複数の接続機器 との通信

この章では、GP が複数の接続機器 (PLC など)と通信するための基本的な説明と、通信を一部切断 したり接続機器を変更するための基本操作について説明します。 まず「7.1 設定メニュー」(7-2 ページ)をお読みいただき、目的に合った説明ページへ読み進んでく ださい。

7.1	設定メニュー	7-2
7.2	複数接続機器(PLC など)をつなぎたい	7-3
7.3	複数つないだ接続機器から一部切断したい	7-11
7.4	接続機器 ( PLC など ) を変更したい	7-18
7.5	設定ガイド	7-28
7.6	制限事項	7-33

## 7.1 設定メニュー



## 7.2 複数接続機器 (PLC など)をつなぎたい

7.2.1 詳細



GP 1 台に対し、 4 つのドライバ (COM1、COM2、イーサネット (UDP/TCP))を使用して複数の接 続機器を同時につなぐことができます。

4つのドライバまで設定できる機種と2つのドライバまで設定できる機種があります。

MEMO ・ 2 つのドライバのみ設定できるのは GP330X シリーズです。

7.2.2 設定手順

MEMO • 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。 ☞ 「6.13.2 [ 新規作成 ] の設定ガイド」(6-66 ページ )

例 )COM1: A 社接続機器、PLC1(例:オムロン社製、CS/CJシリーズ上位リンク)に
 COM2: B 社接続機器、PLC2、PLC3、PLC4(例:三菱社製、A シリーズ計算機リンク3台)を追加する場合の設定を行います。



1「プロジェクト (F)」メニューから [システム設定 (C)]を選択するか、 🔊 をクリックし、システム 設定ウィンドウの [接続機器設定]をクリックすると、次のような [接続機器設定]画面が表示されま す。

a new Statistics (mission)	
システム設定ウィンドウ	表示器タイプ
	シリーズ GP3000シリーズ
衣示器設定	機種 AGP-3500T
SHALEA CO	設置方法 横型
1004#ERAE	<b>拉注排职职</b> 中
本体验定	TROPOLIN BASKAL
フォント設定	接続機器1
国油 姚 明 邦 中	144 <del>5</del> <u>123735662.</u>
同辺倣蓄設定	メーカー (オムロン(株) シリーズ (CS/CJ シリーズ 上位リンク ポート (COM1
国门口·胡椒果	文字列データモード 3 変重
<u>周辺(後留一頁</u>	
接结继界設定	通信設定
TRUCKINGUERASE	
プリンタ設定	
	通信速度 19200 🗾
バーコード設定	データ長 ◎ 7 ○ 8
<u>スクリプト設定</u>	/10/5-1 しなし い 満訳 し 奇奴
	ストップビット 〇一1
	רת –⊯القات (€ tal. C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト P 🚽 (sec)
	UF54 2 \Xi
	RL/VCC C RL C VCC
	にするかを選択できます。デジタル製K5232Cアイソレーションユニッ
	トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定
	接続可能で数1000100000000000000000000000000000000
	100. (()(話:2) 認定 1 D(-2)
「論 シンス・・・   誰 アド・・・   郎   共・・・   回   画・・・	IFLOII     Imm // // // // // // // // // // // // /

2 [接続機器を追加]をクリックします。

表示語ダイフ シループ GP30003ループ
機種 AGP-3500T
設置方法 横型
接続機器設定
接続機器を追加接続機器を削除
接続機器1
概要
メーカー オムロン(株) シリーズ (CS/CJ シリーズ 上位リンク ポート (COM1
文字列データモード 3 変更
〒−9長 ● / ● 8
パリティ 〇 なし ④ 偶数
ストップビット 〇一1 〇〇2
フロー制御 ④ なし ( ER(DTR/CTS) ( XON/XOFF
ቃብፊፖሳት 🛛 🚊 (sec)
UK57 🛛 🔁 🗮
送信ウェイト 🛛 🚍 (ms)
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)
にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレージョンユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。
1907年1月2日以10日 No. 機器名 設定
1 PLC1 月機No.=0.ネットワーク=0.ノード=0

3 [接続機器 2 の追加]ダイアログボックスが表示されたら、追加する接続機器の[メーカー]、[シ リーズ]、[ポート]を設定して[追加]をクリックします。

₫ 18	続機器 2 の追加	×
	定———	
ŧ	轰続機器	
	メーカー	三菱電機(株)
	シリーズ	A シリーズ 計算機リンク
	接続可能台数	16台
ŧ	<del>続</del> 方法	
	ポート	COM2
		<u>この接続機器のマニュアルを見る</u>
		<u>機器接続マニュアルへ</u>
		15月11日 キャンセル

MEMO • ポートは他の接続機器と重複しないように設定してください。ポートが重複した場合 は、[接続機器設定]画面[ポート]の右横に、 () が表示されます。

4 [接続機器 2 ] タブの設定画面が表示されたら [機器追加ボタン] **■** をクリックし、接続機器を 2 台追加します。

接続機器1 接続機器2	
概要	接続機器変更
メーカー 三菱電機(	株) シリーズ A シリーズ 計算機リンク ポート COM2
文字列データモード	2 変更
通信設定	
通信方式	C RS232G ● RS422/485位線式) C RS422/485(4線式)
通信速度	19200
データ長	© 7 C 8
パリティ	○ なし   ④ 偶数
ストップビット	C 1 C 2
フロー制御	tot C ER(DTR/GTS) C XON/XOFF
タイムアウト	β sec)
リトライ	2
送信ウェイト	0 (ms) 补劢期設定
機器別設定	
接続可能台数 16台 No 機器を	
1 PLC2	

5 追加した接続機器の名称を全角 10 文字または半角 20 文字以内でそれぞれ設定します。

機器別設	定		
接続	可省	6台数 16台 🚮	
	No.	<u> 概器名</u>	設定
<b>*</b>	1	PLC2	tt
*	2	PLC3	tt
الله	3	PLC4	It

мемо	┃・ [機器名]で任意の名前をつける場合は重複しないようにご注意くだ	さい。
------	------------------------------------	-----

6 [接続機器設定ボタン] e をクリックして、[個別機器設定]ダイアログボックスが表示されたら 接続機器に応じてそれぞれ設定します。(下記の図は三菱社製、Aシリーズ計算機リンクを使用して いる場合の[個別機器設定]ダイアログボックスです。)



MEMO • [個別機器設定]ダイアログボックスの設定内容は接続機器により異なります。各接続機器の設定内容詳細は「GP-Pro EX 機器接続マニュアル」をご確認ください。

7 以上で複数接続機器を追加する設定が完了しました。

7.2.3 しくみ

複数接続パターン

ダイレクトアクセス方式

• 接続機器を複数台つなぐことができます。

COM1 と COM2 を使用した場合

例)COM1にA社のドライバ(シリアル通信) COM2にB社のドライバ(シリアル通信)を設定しま



接続マニュアル」を参照してください。

COM1 とイーサネットポート ( [UDP] / [TCP] 通信 ) を使用した場合

例)COM1 に A 社のドライバ (シリアル通信)、イーサネットポートに B 社、C 社、D 社のドライバ (イーサネット通信)を設定します。



 MEMO
 ・ 複数接続でイーサネット通信ドライバを使用する場合、同じドライバは [UDP]、[TCP] どちらか一方しか設定できません。
 例)[接続機器1]に MELSEC A Ethernet [UDP] タイプを設定した場合、[接続機器2]に MELSEC A Ethernet [TCP] タイプは設定できません。

ダイレクトアクセス方式+メモリリンク方式

• 接続機器とホスト (パソコン、マイコンボードなど)を混在してつなぐことができます。

ダイレクトアクセス方式とメモリリンク方式を使用した場合

例 )COM1 に A 社の接続機器をダイレクトアクセス方式で、COM2 にマイコンボードをメモリリンク 方式で接続する



複数接続機器(PLC など)使用時のシステムデータエリア/LS エリアについて システムデータエリアについての詳細は「付録 1.4.4 接続機器へのシステムデータエリアの割り付け 手順」(A-19ページ)または「GP-Pro EX 機器接続マニュアル」を参照してください。

ダイレクトアクセス方式

GP に複数の接続機器をつなぐ場合、システムデータエリアは1台の接続機器のみ設定できます。 例)下図のように GP1 台に接続機器が4台つながっている場合、PLC1 ~ PLC4のうち1台のみシステ ムデータエリアを設定することができます。



ダイレクトアクセス方式+メモリリンク方式

ダイレクトアクセス方式とメモリリンク方式の2つの通信方式が混在する場合、ダイレクトアクセス 方式で使用する LS エリアと、メモリリンク方式で使用する LS エリアは別のエリアとなります。ただ し、システムデータエリアの一部、特殊リレーエリアおよび、LS9000 エリアは互いにリンクされま す。

例)下図のように GP に接続機器とマイコンボードを接続した場合、GP にはダイレクトアクセス方式 用 LS エリア、メモリリンク方式用の LS エリアができます。



### 7.3 複数つないだ接続機器から一部切断したい

#### 7.3.1 詳細



通信スキャン ON/OFF の各ビットを操作することにより、運転モード中にスキャンを接続機器ごとに 停止することができます。

#### 7.3.2 設定手順

# MEMO ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。 <sup>GP</sup>「11.14.1 ビットスイッチ」(11-44 ページ) <sup>GP</sup>「7.5 設定ガイド」(7-28 ページ)

 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」を 参照してください。

<sup>ເኇ</sup>「9.6.1 部品の編集手順」(9-37 ページ)



通信スキャン ON/OFF の各ビットを操作することにより、運転モード中にスキャンを接続機器ごとに 停止することができます。 通信を切断する

タッチで各接続機器の通信スキャンをコントロールしているビットアドレスの ON/OFF を反転させる スイッチを作成します。

- [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [ビットスイッチ (B)] を選択するか、
   をクリックし、画面に配置します。
- 2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

💰 スイッチ/ランプ		×
<ul> <li>★1957/300</li> <li>部品D</li> <li>SL_0000</li> <li>コメント</li> <li>コメント</li> <li>通常</li> <li>形状選択</li> <li>形状なし</li> </ul>	スイッチ機能 スイッチ機能 マルチファンクションリスト ビットスイッチ じットスイッチ 道加	(単本) (10000) (アンドントントント・シント・ビストッチ・シンド40000) (アレビントントント・ビストッチ・ビンクタストッチ・センクタストッチ・ビットカドレス (アレビントンクロート・マント・シンド・ビットガドレス) (アレビントンクリート・マント・ビット動作) ビット動作 ビットセット (マット・マット)
	前除 コピーして追加	
<u> ヘルプ(H)</u>		<u>のKの</u> キャンセル

- 3 [形状選択]でスイッチの形状を選択します。
- 4 [ビットアドレス]にタッチで操作したいビットアドレス(例:LS955000)を設定します。

アイコンをクリックすると、 アドレス入力用キーボードが 表示されます。

[接続機器]で[ # INTERNAL]、デバイスで 「LS」を選択し、アドレスに「955000」 を入力して「Ent」キーを押します。

		🔜 アドレス入力(ビット) 🛛 🛛 🛛		
ビットアドレス		接続機器 <b>#INTERNAL</b> ▼		
		LS 955000		
(711-17)	,	Back	,	
		7 8 9		
		4 5 6		
		0 Ent		
		ii		

#### MEMO

 ・ 通信スキャンを実行するか停止するかをコントロールするビットアドレスの設定範囲は 内部デバイスアドレスの LS9550 ~ LS9557 です。それぞれの接続機器アドレスはビット 0 から順に各ドライバの1台目から割り付けられています。

	LSエリア
LS9550	ドライバ1の1~16台分
LS9551	ドライバ 1 の 17 ~ 32 台分
LS9552	ドライバ2の1~16台分
LS9553	ドライバ 2 の 17 ~ 32 台分
LS9554	ドライバ3の1~16台分
LS9555	ドライバ 3 の 17 ~ 32 台分
LS9556	ドライバ4の1~16台分
LS9557	ドライバ4の17~32台分
LS9558	予約
LS9559	予約

#### 例)

LS9550 にはドライバ1の1~16台までの通信スキャンをコントロールするビットアド レスが設定できるようになっています。

[LS9550]

15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0

ビット0:ドライバ1の1台目の PLC のスキャン ON/OFF します。 ビット0をON することでドライバ1の1台目の PLC のスキャンを停止(スキャン OFF する)します。再開する場合にはビット0を OFF してください。

- システムエリア先頭アドレスを指定した接続機器の通信スキャンを停止することはできません。ただし、システムデータエリアを使用しない場合は通信スキャンを停止することができます。
- 「6.13.6 [システム設定ウィンドウ]の設定ガイドシステムエリア設定」(6-109ページ)
- 接続機器によっては、LS エリアのアドレスが 32 ビット設定できるものもあります。この場合、通信スキャンをコントロールするビットアドレスは下位の 16 ビットを使用します。
- 通信スキャンを OFF した場合、表示中の部品のデータは継続して表示されますが、画面 切り替えを行い再度その画面を表示した場合、部品のデータは表示されません。

5 [ビット動作]で[ビット反転]を選択します。

ビット動作	
ビット反転	▼

6 必要に応じて[カラー]タブ、[銘板]タブでスイッチの色や表示させる文字を設定し、[OK]をク リックします。

#### 通信状態を確認する

接続の通信状態を監視するビットアドレスの ON/OFF 状態を表示するランプを作成します。

- 1 [部品 (P)]メニューの [スイッチランプ]から [ランプ]を選択するか、 ♀ をクリックし、画面に 配置します。
- 2 配置したランプをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

<i>談</i> スイ <del>ッ</del> チ/ランプ	X
部品ID SL_0000 💮	スイッチ機能 ランプ機能 カラー   銘板
	▶ ランプ機能
OFF 形状選択	≫詳細 「PLC1]X00000 ▼ ■ スイッチからコピー スイッチへコピー
ヘルプ(円)	 *ャンセル

- 3 [形状選択]でランプの形状を選択します。
- 4 [ビットアドレス]でランプを ON/OFF させたいビットアドレス (例:LS956000)を設定します。



МЕМО

 ・ 接続機器の通信状態を監視するビットアドレスの設定範囲は内部デバイスアドレスの LS9560 ~ LS9567 です。それぞれの接続機器アドレスはビット0から順に各ドライバの 1 台目から割り付けられています。

	LSエリア
LS9560	ドライバ1の1~16台分
LS9561	ドライバ 1 の 17 ~ 32 台分
LS9562	ドライバ2の1~16台分
LS9563	ドライバ 2 の 17 ~ 32 台分
LS9564	ドライバ3の1~16台分
LS9565	ドライバ 3 の 17 ~ 32 台分
LS9566	ドライバ4の1~16台分
LS9567	ドライバ4の17~32台分
LS9568	予約
LS9569	予約

#### 例)

LS9560 にはドライバ1の1~16 台までの通信スキャンをコントロールするビットアド レスが設定できるようになっています。

[LS9560]

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

ビット0:ドライバ1の1台目が通信状態の場合はON、切断されている場合はOFFします。

ビット0がONすることでドライバ1の1台目が通信状態であることを確認します。接続機器が切断されている場合はビットがOFFされます。

接続機器によっては、LS エリアのアドレスが 32 ビット設定できるものもあります。この場合、通信スキャンをコントロールするビットアドレスは下位の 16 ビットを使用します。

5 [カラー] タブをクリックし、ランプの表示色を設定します。[状態選択] でランプが ON の場合、 OFF の場合それぞれで[表示カラー]、[パターン]、[枠カラー]を設定します。

🏄 スイッチ/ランプ		×
部品ID ISL 0000 三	スイッチ機能 ランブ機能 カラー 銘板	
	状態選択 OFF I	
	表示カラー 💶 2 ブリンク 無し 💌	
	パターン パターン無 👤	
	格カラー 177 💌 ガリック 無人 💌	
OFF		
形状選択		
		ļ
		ļ
ヘルプ(円)	<u> </u>	

6 [銘板] タブをクリックし、ランプ部品の上面に表示される銘板を指定します。フォントやサイズを 指定して四角枠のフィールドに表示させる文字を入力し、[OK] をクリックします。

<i>談</i> えイ <del>ッ</del> チ/ランプ	x
部品ID SL_0000 三	スイッチ機能   ランプ機能   カラー 銘板
אעאב	<ul> <li>◎ 直接文字列</li> <li>○ 文字列テーブル</li> </ul>
	状態選択 OFF ▼
	フォント設定       フォントタイプ 標準フォント       ・       表示言語       日本語       ・       文字飾り
OFF 形状選択	文字カラー ブリンク □ 7
	▶ 位置固定 □ 追従
ヘルプ(円)	<u> </u>

# 7.4 接続機器 (PLC など)を変更したい

7.4.1 詳細



接続機器の機種変更の際、複数の接続機器に対してアドレスを一括変換することができます。 機種変更時のアドレス変換にはアドレス変換範囲を指定せずアドレス一括変換する方法とアドレス変 換範囲を指定してアドレス一括変換する方法の2つがあります。

#### 7.4.2 設定手順

アドレス変換範囲を指定せずに機種変更

機種変更時にアドレスの変換パターンを指定せず、機種を変更します。



例) COM1: A 社接続機器、PLC1(例:オムロン社製、CS/CJシリーズ上位リンク)
 COM2: <u>B 社接続機器、PLC2、PLC3、PLC4(例:三菱社製、A シリーズ計算機リンク3台</u>)



 COM1: A 社接続機器、PLC1(例:オムロン社製、CS/CJ シリーズ上位リンク)

 COM2: C 社製接続機器3台(例:横河電機製、パソコンリンクSIO 3台)



1「プロジェクト (F)」メニューから [システム設定 (C)]を選択するか、 🔊 をクリックし、システム 設定ウィンドウの [接続機器設定]をクリックすると、次のような [接続機器設定]画面が表示されま す。

+	
表示語ダイノ シリーズ GP3000シリーズ	
機種 AGP-3500T	
新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新新	
接続機器設定	
	接続機器を追加 接続機器を削除
接続機器1   接続機器2	
概要	
メーカー  オムロン(株)	シリーズ JCS/CJ シリーズ 上位リンク ポート JCOM1
文字列データモード 3 変更	
通信設定	
通信方式 © RS232C C F	3S422/485(2線式) O RS422/485(4線式)
通信速度 19200	-
データ長 💿 7 🔘 8	)
パリティ こなし 🔍 🥼	周数 〇 奇数
ストップビット C1 © 2	2
フロー制御 💿 なし 🔿 E	R(DTR/CTS) O XON/XOFF
タイムアウト 3 🚊 (sec)	
yh <del>o</del> r 🛛 🚍	
送信ウェイト 🛛 🚊 (ms)	
	/CC
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするか	
にするかを選択できます。テジタル製RS232C トを使用する場合は、VCCを選択してください	アイソレーションユニッ 、  なTHBEA会会
が発見してん合	T/J7/JaXAE
1%(43)/15X/E 接続可能台数 16台 <b>西西</b>	
No. 機器名	
	15歳No.=U,ネットノーク=0,ノード=0

2 [接続機器2]タブをクリックし、[接続機器変更]をクリックします。

接続機器 接続機器2	接続機器を追加	<u>接続機器を削除</u>
概要 メーカー 三菱電機(株)	シリーズ A シリーズ 計算機リンク オ	<u> 接続機器変更</u> ペート COM2

3 次のような[接続機器の変更]ダイアログボックスが表示されるので、変更したい接続機器の[メーカー]、[シリーズ]を設定します。

💣 接続機器の変更	×
一現在の設定――	
接続機器	
メーカー	三菱電機(株)
シリーズ	A シリーズ 計算機リンク
接続台数	3 台
接続方法	_
ポート	COM2
	Ŷ
変換後の設定一	
接続機器	
メーカー	横河電機(株)
シリーズ	לעועבעא SIO
接続可能台灣	敗 16 台
接続方法	
ポート	COM2
この接続機器のマニ	<u>ュアルを見る</u> 機器接続マニュアルへ
変更	アドレス変換を指定して変更 キャンセル

4 [変更]をクリックします。

診 接続機器の変更	×
現在の設定	
接続機器	
メーカー	三菱電機(株)
シリーズ	A シリーズ 計算機リンク
接続台数	3 台
接続方法	
ポート	COM2
	Ţ
変換後の設定	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
接続機器	
メーカー	横河電機(株) ▼
シリーズ	לעועבעא SIO
接続可能台数	16 台
接続方法	
ポート	COM2
	アドレス変換を指定して変更 キャンセル

5 次のようなメッセージが表示されるので [OK] をクリックし、設定が完了します。



- MEMO [接続機器の変更]ダイアログボックスの[変更]ボタンから変更すると、変更先にデバイスコードがなければアドレス変換パターンが正確に表示されない場合があります。プロジェクトで使用中のデバイスアドレスをすべて再確認し、適切なものに修正してください。
  - 接続機器を変更した場合は、変更後に部品や、Dスクリプト、アラーム等のデバイスアドレスの再設定が必要です。また[画面切替]が設定された特殊スイッチを使用している画面は、各画面でそれぞれ再度保存し直してください。
  - ・ 複数接続機器の機種変更時にイーサネット通信ドライバを使用する場合、同じドライバ は [UDP]、[TCP] どちらか一方しか設定できません。
     例)[接続機器1]に MELSEC A Ethernet [UDP] タイプを設定されている場合、[接続機器2]の機種を MELSEC A Ethernet [TCP] タイプには変更できません。

アドレス変換範囲を指定して機種変更

機種変更時にアドレスの変換パターンを指定して、機種を変更します。変換前のアドレス範囲と接続 機器変更先の先頭アドレスを指定します。

MEMO
 ● 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

 <sup>(3)</sup>「7.5.1 [接続機器の変更]の設定ガイド」(7-28 ページ)
 <sup>(3)</sup>「7.5.2 [アドレス変換方法指定]の設定ガイド」(7-29 ページ)

例) COM1: A 社接続機器、PLC1(例:オムロン社製、CS/CJ シリーズ 上位リンク) COM2: <u>B 社接続機器、PLC2、PLC3、PLC4(例:三菱社製、A シリーズ 計算機リンク3台</u>)



COM1: A 社接続機器、PLC1(例:オムロン社製、CS/CJ シリーズ 上位リンク) COM2: <u>C 社製接続機器3台(例:横河電機製、パソコンリンク SIO 3台</u>)



1「プロジェクト (F)」メニューから [システム設定 (C)]を選択するか、 🔊 をクリックし、システム 設定ウィンドウの [接続機器設定]をクリックすると、次のような [接続機器設定]画面が表示されま す。

表示器タイプ シリーズ GP3000シリー 継通 AGP-3500T	X.
設置方法 横型	
接続機器設定	
	<u>接続機器を追加 接続機器を削除</u>
接続機器1 接続機器2	
概要	接続機器変更
メーカー オムロン(株)	シリーズ  CS/CJ シリーズ 上位リンク ポート  COM1
文字列データモード 3	
通信設定	
通信方式 📀	RS232C O RS422/485(2線式) O RS422/485(4線式)
通信速度 1	9200
データ長 💿	7 C 8
パリティ 〇	なし  ・ 偶数  ・ 奇数
ストップビット 〇	1 • 2
フロー制御 💿	なし O ER(DTR/GTS) O XON/XOFF
タイムアウト 3	(sec)
UN54 P	
送信ウェイト 🛛 🖗	<u>二</u> (ms)
RI / VCC 💿	RI C VCC
RS232Cの場合、9番ビ にするかを選択できます。	ンをRI(入力)にするかVCC(5)で電源供給) 、デジタル型R5232Cアイソルーションフェッ
ドを使用する場合は、V	COを選択してください。 初期設定
機器別設定	
接続可能台数 16台	
1 PLC1	atve 最後No.=0ネットワーク=0、ノード=0

2 [接続機器2]タブをクリックし、[接続機器変更]をクリックします。

接続機器1 接続機器2	<u>接続機器を追加</u> 	<u>接続機器を削除</u>
概要		接続機器変更
メーカー  三菱電機(株)	シリーズ A シリーズ 計算機リンク ポ	-FCOM2

3 次のような[接続機器の変更]ダイアログボックスが表示されるので、変更したい接続機器の[メー カー]、[シリーズ]を設定します。

🏄 接続	続機器の変更	×
一現右	主の設定 ―――	
接	続機器	
	メーカー	三菱電機(株)
	シリーズ	A シリーズ 計算機リンク
	接続台数	3台
接	続方法	
	ポート	COM2
		<u> </u>
一変挑	奥後の設定 ――	•
接	晓機器	
	メーカー	横河電機(株)
	シリーズ	パソコンリンク SIO
	接続可能台数	16 台
接	続方法	
	ポート	COM2
<u>このお</u>	総機器のマニュフ	アルを見る 機器接続マニュアルへ
	変更	アドレス変換を指定して変更 キャンセル

4 [アドレス変換を指定して変更]をクリックします。

💰 接続機器の変更	×
一現在の設定―――	
接続機器	
メーカー	三菱電機(株)
シリーズ	A シリーズ 計算機リンク
接続台数	3台
接続方法	
ポート	COM2
	Ţ
┌変換後の設定──	
接続機器	
メーカー	横河電機(株)
シリーズ	パソコンリンク SIO
接続可能台数	16 台
接続方法	
ポート	COM2
この接続機器のマニュア	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
変更	アドレス変換を指定して変更 キャンセル

5[アドレス変換方法指定]ダイアログボックスが表示されたら、[追加]をクリックします。

💰 アドレス変換	方法指定			×
変更前: 三菱)	電機(株) A シリーズ 計算機切	ンク		
変更後: 横河南	電機(株) パソコンリンク SIO			
タイプ	変換前先頭	変換前終了	変換後先頭	
				編集
				肖耶余
				エクスポート
				インポート
			変換	キャンセル

6 [アドレス変換パターンの登録]ダイアログボックスが表示されたら、[アドレスタイプ]、変換前 [先頭]アドレス、変換前[終了]アドレス、変換後[先頭]アドレスを設定します。

💰 アドレス	変換パターンの登録 🛛 🗙
アドレスタイ	(7
O	ト @ ワード
変換前:	三菱電機(株) A シリーズ 計算機リンク
先頭	[PLC2]D00100
終了	[PLC2]D00200
変換後	
先頭	[PLC2]1W00200
	登録 キャンセル //

7 [登録]をクリックします。

💕 アドレス	変換パターンの登録 🛛 🗙
アドレスター	(プ
O Ľv	ト・・ワード
変換前:	三菱電機(株) A シリーズ 計算機リンク
先頭	[PLC2]D00100
終了	[PLC2]D00200
変換後	
先頭	[PLC2]1W00200
	,
	登録 キャンセル

8 [アドレス変換方法指定]ダイアログボックスが表示され、変換パターンが追加されたら、[変換]を クリックします。

💣 アドレス変換	方法指定			×
変更前: 三菱(	電機(株) A シリーズ 計算機!	いク		
変更後: 横河的	電機(株) パソコンリンク SIO			
タイプ	変換前先頭	変換前終了	変換後先頭	<u>16700</u>
ワード	[PLC2]D00100	[PLC2]D00200	[PLC2]1W00200	<u>編集</u>
				<u>削除</u>
				<u>エクスポート</u>
				<u>インポート</u>
			変換	キャンセル

- MEMO ・ 接続機器を変更した場合は、変更後に部品や、D スクリプト、アラーム等のデバイスアドレスの再設定が必要です。また [画面切替]が設定された特殊スイッチを使用している画面は、各画面でそれぞれ再度保存し直してください。
  - 複数接続機器の機種変更時にイーサネット通信ドライバを使用する場合、同じドライバ は [UDP]、[TCP] どちらか一方しか設定できません。
     例)[接続機器1]にMELSEC A Ethernet [UDP] タイプを設定されている場合、[接続機器2]の機種を MELSEC A Ethernet [TCP] タイプには変更できません。

# 7.5 設定ガイド

#### 7.5.1 [接続機器の変更]の設定ガイド

[接続機器設定]画面で[接続機器変更]をクリックすると次のようなダイアログボックスが表示されます。変更する接続機器の機種を選択します。

ð	接続機器の変更	×
Г	現在の設定	
	接続機器	
	メーカー	三菱電機(株)
	シリーズ	A シリーズ 計算機リンク
	接続台数	3 台
	接続方法	
	ポート	COM2
		Ţ
Γ	変換後の設定	
	接続機器	
	メーカー	横河電機(株)
	シリーズ	パソコンリンク SIO
	接続可能台数	16 台
	接続方法	
	ポート	COM2
	この接続機器のマニュフ	<u>アルを見る</u> 機器接続マニュアルへ
	変更	アドレス変換を指定して変更 キャンセル

		設定内容	
現在の設	メーカー	現在設定されている接続機器のメーカーを表示します。	
	シリーズ	現在設定されている接続機器のシリーズを表示します。	
	接続台数	現在設定されている接続機器の接続台数を表示します。	
定	ポート	現在設定されている接続機器の接続ポートを表示します。	
変	メーカー	機種変更後の接続機器のメーカーを設定します。	
換後	シリーズ	機種変更後の接続機器のシリーズを設定します。	
12 の	接続可能台数	機種変更後の接続機器で接続可能な機器の台数を表示します。	
設 定	ポート	機種変更後の接続ポートを [COM1]、[COM2]、[イーサネット(UDP)]、[イーサ ネット(TCP)] から選択します。	
この接続機器の マニュアルを見る		「GP-Pro EX 機器接続マニュアル」の機種変更後の接続機器について記載されているページを表示します。	
機器接続マニュアルへ		「GP-Pro EX 機器接続マニュアル」のトップページを表示します。	
		アドレスの変換パターンを指定せず機種変更を行います。	
変更		МЕМО	
		<ul> <li>アドレス変換パターンを指定しないため、変換先にアドレスコードがなければ、アドレスが正しく表示されない場合があります。</li> </ul>	
アドレス変換を 指定して変更		アドレスの変換パターンを指定して機種変更を行います。変換前のアドレス範囲 と接続機器変更先の先頭アドレスを指定します。	
キャンセル		接続機器変更の設定をキャンセルします。	

#### 7.5.2 [アドレス変換方法指定]の設定ガイド

[接続機器の変更]ダイアログボックスで[アドレス変換を指定して変更]をクリックすると次のよう なダイアログボックスが表示されます。機種変更の際にアドレス変換範囲を指定することができま す。

💕 アドレス変換	方法指定			×
変更前: 三菱電	電機(株) A シリーズ 計算機	関リンク		
変更後: 横河電	電機(株) パソコンリンク SIO			
タイプ	変換前先頭	変換前終了	変換後先頭	
ワード	[PLC2]D00100	[PLC2]D00200	[PLC2]1W00200	編集
				<u>肖山除…</u>
				エクスポート
				インポート
			20.1 <b>f</b> a	التطريحة ا

設定項目	設定内容		
変更前	接続機器変更前の接続機器メーカー名とシリーズ名を表示します。		
変更後	接続機器変更後の接続機器メーカー名とシリーズ名を表示します。		
タイプ	変換アドレスタイプを [ワード]、 [ビット]のどちらかで表示します。		
変換前先頭	アドレスー括変換前のデバイスアドレスの先頭値を表示します。		
変換前終了	アドレス一括変換前のデバイスアドレスの終了値を表示します。		
変換後先頭	アドレスー括変換後のデバイスアドレスの先頭値を表示します。		
追加・編集	アドレス変換パターンの内容に新規の設定を加えたり(追加)、編集したり(編 集)します。次のようなダイアログボックスが表示されます。		
アドレスタイプ	_ 変換するアドレスの種類を [ ビット ]、 [ ワード ] から選択します。		
変換前	接続機器変更前の接続機器メーカー名とシリーズ名を表示します。		
先頭	変換元の接続機器と先頭アドレスを設定します。		
終了	変換元の接続機器と終了アドレスを設定します。		
	次のページに続きます。		



次のページに続きます。

設定項目	設定内容		
設定項目	設定内容         エクスポート         登録したアドレス変換パターンを外部記憶メディアに別ファイル(CSV形式)         で保存(エクスポート)できます。         保存した登録ファイルは、Microsoft Excel などの表計算ソフトで登録内容を編集できます。         変換前       変換第         100       D200         110       D200         111       Image: State Sta		
	MEMO • アドレス変換パターンが1件以上の場合に設定できます。 • エクスポートした CSV ファイルは Microsoft Excel などの表計算ソフトで編集 することもできます。		

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
	<ul> <li>CSV ファイルへの出力サンプル エクスポートデータの CSV フォーマットは以下のように表示されます。</li> </ul>
	エクスポートする前のアドレス変換パターン
	<h> <b>アドレス変換方法指定</b></h>
	変換 キャンセル //
	上記のファイルをエクスポートした CSV ファイル
	Pattern List       Key Name       1         OMR_CSIO       変更元ドライバ         MIT_ACPU       変更先ドライバ
エクスポート・ インポート	0,[PLC1]DM0200,[PLC1]DM0300,[PLC1]D0100 [タイプ] <sup>2</sup> 、[接続機器名]変換元先頭アドレス、[接続機器名]変換元終 了アドレス、[接続機器名]変換先先頭アドレス
	0,[PLC1]DM0300,[PLC1]DM0400,[PLC1]D0200 [タイプ] <sup>2</sup> 、[接続機器名]変換元先頭アドレス、[接続機器名]変換元終 了アドレス、[接続機器名]変換先先頭アドレス
	I,[PLC1]IIM0100,[PLC1]IIM0300,[PLC1]IS0200         [タイプ] <sup>2</sup> 、[接続機器名]変換元先頭アドレス、[接続機器名]変換元終 了アドレス、[接続機器名]変換先先頭アドレス
	上記の CSV ファイルを表形式で表現すると以下のようになります。
	Pattern List         変更元ドライバ           OMR_CSIO         変更先ドライバ           MIT_ACPU         変更先ドライバ           0         [PLC1]DM0200         [PLC1]DM0300           0         [PLC1]DM0300         [PLC1]D0100           0         [PLC1]DM0300         [PLC1]D0200           1         [PLC1]TIM0100         [PLC1]TIM0300         [PLC1]TS0200           タイプ         接続機器名         変換元先頭 アドレス         変換元終了 アドレス         変換先先頭 アドレス
	<ol> <li>1 アドレス変換パターンの CSV ファイルであることを識別するためのマジックテキストです。</li> <li>2 [ワードアドレス]: 0、[ビットアドレス]: 1</li> </ol>

#### 7.6 制限事項

- 接続機器を変更した場合は、変更後に部品や、Dスクリプト、アラーム等のデバイスアドレスの 再設定が必要です。また[画面切替]が設定された特殊スイッチを使用している画面は、各画面で それぞれ再度保存し直してください。
- 複数接続でイーサネット通信ドライバを使用する場合、同じドライバは [UDP]、 [TCP] どちらか一方しか設定できません。

例)[接続機器1]に MELSEC A Ethernet [UDP] タイプを設定した場合、[接続機器2]に MELSEC A Ethernet [TCP] タイプは設定できません。

- 複数接続されている接続機器の設定を削除する場合、すでにプロジェクト内でアドレスが使用されている接続機器を削除することはできません。接続機器の設定を削除できない場合は、[プロジェクト]メニューの[ユーティリティ]を選択して[クロスリファレンス]を開き、どのアドレスが使用されているか確認してください。使用中のアドレスをアドレスー括変換で他のアドレス に置き換えるか、不要であればそのアドレスを削除してから接続機器の設定を削除してください。
- システムエリア先頭アドレスを指定した接続機器の通信スキャンを停止することはできません。
   ただし、システムデータエリアを使用しない場合は通信スキャンを停止することができます。
- <sup>②</sup>「6.13.6 [ システム設定ウィンドウ ] の設定ガイド システムエリア設定」(6-109 ページ)

# Memo